

事業名 前期読み聞かせボランティア養成講座

趣 旨 子もたちに幼い頃から絵本に親しめる環境を提供するため、絵本の読み聞かせを行うことができる人材を育成する。

実施主体 長岡市立中央図書館

参加対象 ボランティアをやってみたい方、初心者

参加者数 66人

回数 5回 日数 5日 時間 10時間

場所 長岡市立中央図書館 2階 講堂

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月14日(木) 13:30~15:30	赤ちゃんから絵本①絵本で子育て・親育ち	すずらん文庫主宰・日本図書館協会評議員 渡辺順子さん
	内容・方法	テレビやゲームがあることの弊害や、絵本を通して赤ちゃんや子どもとコミュニケーションをすることの重要性についてお話いただいた。	
2	6月21日(木) 13:30~15:30	赤ちゃんから絵本② 絵本の持つ力	すずらん文庫主宰・日本図書館協会評議員 渡辺順子さん
	内容・方法	なぜ今、0歳から絵本なのか？ なぜ子どもに絵本の読み聞かせをするのか。月齢、年齢に合わせた絵本の紹介。 実際に渡辺先生が作成された布絵本の紹介をしていただき、簡単な布おもちゃを受講生みんなで作った。	
3	6月28日(木)	幼児への読み聞かせ① 読み聞かせとは？本選びは？持ち方は？	おはなしアンサンブル所属 石川道子さん
	内容・方法	未就学児への読み聞かせに向く絵本の紹介 おはなし会で役に立つわらべうたや手遊びを紹介してもらい全員で一緒に歌った。	
4	7月5日(木)	幼児への読み聞かせ② 読み聞かせの実際・おはなし会のプログラムなど	おはなしアンサンブル所属 石川道子さん
	内容・方法	受講生による絵本の読み聞かせの実習 おはなし会で役に立つ小さな子ども向けのわらべうたや手遊びの紹介 子どもの気持ちを考えた読み聞かせとはどういったものかを具体的にお話いただいた。	
5	7月12日(木)	図書館でのおはなし会の実演	図書館おはなし ボランティア JPIC読書アドバイザー 淵本紀子さん
	内容・方法	図書館で活動しているボランティアさんたちが実際にどういったおはなし会をしているかの実演と絵本の選び方やボランティアに求められることについてお話いただいた。	

成 果 ・ 終了後ボランティアを希望される方は、ブックスタートのボランティアや図書館のおはなしボランティアとして登録して下さった。

課 題 ・ 読み聞かせやその方法は年齢によってもやり方が違い、年齢別の読み聞かせの講座だけでなく、ブックトークやストーリーテリングなどの幅広い本に関する講座が要求されている。そういった要求に今後どのように対応していくかが課題である。

問合せ先 長岡市立中央図書館 奉仕係 (担当：穴沢麻子) TEL0258-32-0658

事業名 後期読み聞かせボランティア養成講座

趣 旨 子どもと本をつなげるために、主に小学校で活躍している読み聞かせボランティアを対象に読み聞かせの仕方や絵本の選び方について学んでもらい、学校図書館で児童向けのおはなし会ができるようにしたい。

実施主体 長岡市立中央図書館

参加対象 ボランティアをやってみたい方、初心者

参加者数 27人

回数 3回 日数 3日 時間 6時間

場所 長岡市立中央図書館 2階 講堂

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月15日(木) 10:00~12:00	学校図書館におけるボランティアの役割とは	互尊文庫嘱託員 高橋啓美
	内容・方法	長岡市の学校図書館の現状と課題について、学校図書館のボランティアや支援スタッフとして活動されている高橋さんからお話いただいた。	
2	11月22日(木) 10:00~12:00	学校図書館におけるボランティアの役割とは	互尊文庫嘱託員 高橋啓美
	内容・方法	長岡市の学校図書館の支援センターとなっている千手小学校の図書室の様子などをスライドで紹介し、ボランティアさんならではの工夫や努力している点をわかりやすく説明していただいた。	
3	11月29日(木) 10:00~12:00	読み聞かせの実践	中央図書館嘱託員 宮沢正哉
	内容・方法	受講生の皆さんから、読み聞かせをする本を選んでいただき、皆の前に出て読み聞かせの実習をした。講師からは読み聞かせに向く本を紹介いただき、子どもの発達に絵本の読み聞かせがいかに重要であるかお話してもらった。	

成 果 ・ 既に学校図書館ボランティアとして活動されている方も多く、それぞれの学校で今回の講座の成果が出ているかと思う。これからボランティアをやりたいと思っていた方には、ボランティアを募集している学校を紹介したりすることができた。

課 題 ・ 実習を含めた講座にすると、受講生の人数が限られてしまい、大勢の方から受講してもらうことが難しい。なるべく多くの方から聞いてもらえて、なおかつ実践的な講座を開催したい。

問合せ先 長岡市立中央図書館 奉仕係 (担当: 穴沢麻子) TEL0258-32-0658

事業名 平成19年度『中学生のためのボランティアスクール』

趣 旨 夏休み期間を利用して合宿をしながら、お年寄りの介護やリハビリの手伝い、保育などのボランティア活動を体験することにより、奉仕の大変さ、健常者としての感謝の気持ちを再確認するとともに、仲間との出会いの楽しさ、大切さを学びます。

実施主体 五泉市教育委員会 村松教育事務所：生涯学習課

参加対象 五泉市内の中学生

参加者数 20名

回数 1回 日数 2泊3日 時間 49時間

場所 宿泊：チャレンジランド杉川 実習先：市内保育園及び福祉施設

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	H19. 7. 31～ 8. 2 2泊3日	上記 趣旨に準ずる	生涯学習課職員及び実習先のまる施設職員
	内容・方法	申込時に中学生の実習してみたい施設の希望（第1、第2まで）を取り、実習先を振り分け自分の興味のある保育園や福祉施設で保育の手伝いや介護の手伝いをする。また、宿泊施設のチャレンジランドでは班編成により全員が当番制で食事や後片づけ、掃除などを担当し、規律ある団体生活と他校生徒との触れ合いを体験する。	

成 果 ・ 終了後に生徒さん達からアンケートと作文を提出して貰い冊子を作成している。普段交流の無い他校の生徒と仲良くなれた。老人の介護は大変な仕事だと実感してもらえた。

課 題 ・ 各施設の受入れ人数が決まっているので、実習先の調整が大変むずかしい。

問合せ先 五泉市村松公民館 0250-58-5082 (FAX兼用)

事業名 平成19年度『高校生のためのボランティアスクール』

趣 旨 保育士や看護師、介護士を目指す高校生。ならびに進路を検討している生徒さんに、福祉施設でのお手伝いや対話。病院では実際に患者さんと接したり、リハビリの手伝い。保育園では園児とのふれ合いで保育の大切さを学ぶ。これらのことを、ボランティア活動を通して体験してもらい、将来への一助とするとともに、同じ目的を持つ仲間との出会いの場を提供する。

実施主体 五泉市教育委員会 村松教育事務所：生涯学習課

参加対象 五泉市内在住及び、五泉市内の高等学校に通う高校生

参加者数 19名

回数 1回 日数 2泊3日 時間 52時間

場所 宿泊：チャレンジランド杉川 実習先：市内保育園及び福祉施設、病院

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	H19. 8. 8～ 8. 10 2泊3日	上記 趣旨に準ずる	生涯学習課職員及び実習先の施設職員
	内容・方法	〇〇系の大学や専門学校に進学したい、あるいは将来保育士さんや看護師・介護士になりたいと考えている高校生に、より実践に近い場を提供する（食事の世話や入浴の介助等をするため、参加者全員の検便を実施）。また、宿泊施設のチャレンジランドでは班編成により全員が当番制で食事や後片づけ、掃除などを担当し、規律ある団体生活と他校生徒との触れ合い、同じ目的を持った仲間との出会いの場を提供する。	

成 果 ・ 終了後に生徒さん達からアンケートと作文を提出して貰い冊子を作成している。大変だったが、やりがいのある仕事だと自覚し進路選択に大きな手助けをすることができた。

課 題 ・ 各施設の受入れ人数が決まっているので、実習先の調整が大変むずかしい。

問合せ先 五泉市村松公民館 0250-58-5082 (FAX兼用)

事業名 **阿賀野市クリーン作戦**

趣 旨 地域のコミュニケーション能力を高め、子どもの安全を守る。町をきれいにする清掃活動を行い、ボランティアの心を育む。

実施主体 阿賀野市教育委員会 生涯学習課
阿賀野市役所 市民生活課
阿賀野市 青少年健全育成市民会議

協力団体 阿賀野市建設業協会、五泉地域衛生施設組合、(株)早東商店

参加対象 阿賀野市 全自治会（298）

参加者数 160自治会

回数 1回 日数 1日 時間 2時間

場所 自分たちが住む町内の道路や公園など

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成19年 4月15日（日）	<ul style="list-style-type: none">・町内の共同作業をとおして地域住民と子どもたちが面識を深める、危険個所を確認するなどを行い健全な地域をつくる。・清掃活動を通して、住民自治の意識を高めるとともにボランティアの心を育む。	なし
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none">・各自治会が計画を立てて、第3日曜日・家庭の日に道路や公園などに落ちている、空き缶や空きビン、ペットボトルなどのゴミを拾う。・特に小学校に入学したての子どもと地域の大人が面識を持ち、登下校時や放課後、休日に声をかけたり安全を見守ったりするきっかけをつくる。・子どもたちは町内の危険個所を大人から教わり、安全意識を高める。・ゴミ処理施設の休日営業や回収トラックと運転手の提供等、すべてが無給ボランティアで実施される。	

成 果

- ・自分たちが住む町がきれいになったばかりではなく、清掃活動を通して小さな子供と大人が面識を深める、危険個所を確認するなどの活動が「安全安心なまちづくり」への大きな一歩となっている。
- ・地域のコミュニケーション能力が高まっている。
- ・自治会単位で計画を立て清掃活動を行う、建設業協会がボランティアでゴミの回収を手伝ってくれるなどの活動が、市民の「まちづくり」の意識高揚につながってきている。

課 題

- ・より多くの小学新1年生に参加を促す。
- ・参加する自治会の割合（今年は54%）を高め、活動の活発化を図る。

問合せ先 阿賀野市教育委員会 生涯学習課 生涯学習推進室 社会教育係 （遠藤勝）
TEL 0250-62-5322 Fax 0250-62-1877
E-mail: syogaigakusyu@city.agano.niigata.jp